様式1 # 令和8年度　山梨県立ひばりが丘高等学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

学校目標・経営方針	自分に誇りを持ち自己を磨き、毎日を生き生きと学ぶ生徒。自分を見つめ困難に打ち克つ生徒。社会人として自立し役割を担うことのできる生徒の育成。

山梨県立ひばりが丘高等学校校長　　小林　久美

本年度の重点目標
1　自主的・自律的な生徒の育成
2　自己肯定感・自己有用感の育成
3　心身の健康の保持増進及び基本的生活習慣の確立と規範意識の向上
4　社会性や公共性・道徳心の習得

達成度	
A	ほぼ達成できた。（8割以上）
B	概ね達成できた。（6割以上）
C	不十分である。（4割以上）
D	達成できなかった。（4割以下）

評価	
4	良くできている。
3	できている。
2	あまりできていない。
1	できていない。

自己評価							学校関係者評価	
本年度の重点目標				年度末評価（2月1日現在）			実施日　（令和9年2月28日）	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	自主的・自律的な生徒の育成	個々の生徒に寄り添い理解することで、「創作授業」や「表現の時間」等により、長所を引き出し、育てる指導を実践し、自主的自律的な態度の育成に努める。	学校評価アンケート					
		部活動や委員会活動等の生徒主体の活動を活性化することで、自主的自律的な態度の育成に努める。	学校評価アンケート					
2	自己肯定感・自己有用感の育成	きめ細やかな少人数制、ICTの活用、AIドリル等による個別最適化した学習支援やユニバーサルデザイン化による「わかる楽しいため になる」授業を展開する。また、協働を取り入れた主体的で対話的な深い学びの実践等により、学力の向上に努める。	授業観察・学校評価アンケート・授業アンケート・基礎学力診断テスト					
		総合的な探究の時間における体験的な学習や集団活動により、社会を生き抜く力や課題を解決する力の育成に努めると共に、「創作授業」や「表現の時間」等により、自己肯定感・自己有用感の醸成や自己実現に努める。	学校評価アンケート					
		「表現の時間」「読書活動の時間」「校外学習」等により、他者の言葉に耳を傾け、社会に目を向けることで、自分らしい生き方を追求する態度の育成に努める。	学校評価アンケート					
3	心身の健康の保持増進及び基本的生活習慣の確立と規範意識の向上	日常の健康観察やカウンセリング、「通級による指導」等により生徒の課題解決を支援し、心身の健康の保持増進や自己理解、コミュニケーション力の向上に努める。	学校評価アンケート・自己評価アンケート（通級）					
		登校時や休み時間等の日常の声かけ・生活指導やホームルーム活動等により、健康的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努める。	学校評価アンケート					
4	社会性や公共性・道徳心の習得	日常の挨拶の励行・対話やインターンシップを通して、いじめを生み出さない望ましい人間関係・社会性・道徳心の育成に努める。	学校評価アンケート・いじめアンケート					
		日常の清掃、ボランティア活動、愛校作業、部活動等により、他人を思いやり、協力と奉仕のできる公共心・責任感・協調性・豊かな心の育成に努める。	学校評価アンケート					

留意点　（1）重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
（2）学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。